

国連グッズ・お土産ショップ

岩本友則

バグダッドの事務所には、下記の写真に写っている看板が示す通り、大量破壊兵器廃棄特別委員会（UNSCOM）のバグダッド監視検証センター（BMVC）、ワールドフードプログラム、クウェートとの国境を監視する UNIKOM、そしてイラクの人道支援に係わる UNOHCI という4つの国連の機関が置かれ総勢 350 名～400 名程度のスタッフが常時働いていました。



ニューヨーク、ウィーン、ジュネーブ、パリなどの国際機関には、お土産用の国際機関関連グッズお販売しているコーナーがあります。驚いた事にバグダッドの事務所にも国連グッズを販売しているコーナーがあるではありませんか！

1. 日本の消しゴムは世界最高

国連グッズには、ボールペンやノートなどの文房具があります。バグダッドの国連グッズの紹介の前に海外の文房具について記述しましょう。

何処の国にもノート、鉛筆、ボールペン、消しゴムなどの文房具はあります。しかし、それらの品質は、国によってかなりの違いがあります。海外で文具を使った経験がある方は、その品質の悪さを感じられたことがあるでしょう。特にその違いを感じるのが、消しゴムとシャープペンの芯です。

日本の消しゴムは、紙を痛めることなく良く消えます。一方、海外のものは、消えないことから、こすると紙を痛めます。消しゴムは、日本製が世界最高でしょう。

2. 粗悪品もあるぞ

バグダッドに到着早々、化学兵器や生物兵器等の他の査察チームとの合同査察において識別のため着用が義務付けられていた水色の国連帽子(写真-1)、オフィスで使うマグカップ(写真-2)と緑色の半そでシャツ(写真-3)を、43 ドルで買いました。

写真以外にも半そでシャツは2種類、帽子も1種類、その他ボールペン、キーホルダー等が販売されていました。こうした国連グッズは、イラクの人達は、事務所に入室できませんので買うことが出来ません。国連の仕事でイラクに来た関係者がお土産や国連活動に参加した記念買って行くのです。



写真-1



写真-2



写真-3

写真-3のシャツは、色落ちが激しく非常に粗悪品だったのです。製造国を見ると **Made in Sri Lanka** とありました。

国連グッズをお土産に買うときは、このような粗悪品があることを認識しておく必要があります。

続く